

「間質性肺炎」野瀬医院 主人がお世話に
なっています。」

主人は平成28年2月22日に肩に激しい痛みを感じ、
ギューと締めつける様な痛みに苦しんでいましたので、近くの
矢津内科 主人で診療を受けました。その時、レントゲンに
影が写り有り、たいへんな状態だと告げられました。
呼吸器、気管器系の名医から市民病院を紹介され
平成28年3月2日に受診すると、難病指定の間質性肺炎の
今の所、治す薬はなく、薬でなばく現状維持出来る様
する他はないと事でした。このまま自然に行くと余命、
3年~5年の事でした。

そこで「家族の方を呼んで下さい。すぐに入院をして、手術を
間質性肺炎の状態を細胞を取り出して検査はす。と事、
連絡、入院された。

3月3日に手術。あれよ、あれよ。と入院手術された。
只、検査のための手術でした。一週間の入院でした。
なばく治すための手術ではなかつたのです。

それまで、「肩が痛い」「肩が締めつける様に痛い」と云って
いるのは聞いていたが、他に悪い所もない普通の生活
でいたのだ。……。

退院後、主人はすっかり体力がなくなり、息遣いも
荒くなり、体を動かす事がつらく、ハーハーと息遣いも
大きな音になり、夜も息遣いがつらそうでした。余命3年
から5年を告げられていたのだ。死への恐怖まであり、
不安の毎日となりました。

食欲も落ち、食事を摂る時、口がふさがるのだと息が苦
しい。食べることがつらくなった。とも云ってました。

体重はトータル減って行っている様でした。

4月9日、気分転換にと、吉野山にお花見に二人で
お出かけをしました。坂道が、とつとつらく、息が切れて

切れ、セーセー……。お寺で座って休んでいる時に
「小片野の野瀬さんで間質性肺炎が完治したという人
がいますけど、行ってみますか……。』と聞いてみました。
主人は東洋医学は余り、信じるタイプの人では無いのだ。

体がつらくたのび(お)。 「行ってみるわ……。』とふたつ
返事でした。4月15日 7:00 p.m. に初診を受け
させて頂きました。

二年間、野瀬 さんに通って完治した、中山重美さん
の事も聞かせて頂きました。(御本人からも直接、話しを
聞かせて頂きました。中山さんは重症の間質性肺炎に罹り、
野瀬先生は、「間質性肺炎は、昔から、針灸で治さん
です!』と云われました。

主人は週に2回程度、のびで、野瀬医院 さんに通院。
お灸は、通院以外の日は家で毎日、30分~40分かけて、
毎日かかす。つけています。

通院させて頂きたいから、5ヶ月がすぎました。
今は、ウォーキングを40分程、毎朝、草足でスライ
と歩行し、毎日の仕事。(材木業自営)は8:00~5:00迄
普通にこなす。仕事以外にも色々の役職も出来る。
元気な体に12、頂きました。

病院には、定期的に通っています。医師から、

「この調子で、行って下さい。』と云われ、検査の色々の
数値は、良い方向へ向って行っているそうです。

完治するのを楽しみですが、顔は元気な時の様
にもどり、体の色艶は、ピカピカ(以前よりも)になっ
てお肌の艶から、本当に中かう良くなっているのだと実感
です。

針灸で、免疫力がトータルアップして、

自然治療力が働いて、良くなっていると感じます。
野瀬、先生、いつもお世話になってありがとうございます。

追伸。

先生の治療を受けさせて頂いてから、3ヶ月くらいした時に
針灸の資格のある方から、「間質性肺炎は、針灸で治
らんよ!』と云われました。(やっも無汰という理由です。)
私は、野瀬さんで良くなって来ているという実感が有りましたので、
続けられました。野瀬先生は普通の先生とは違うんです。